

第34回全日本リレーオリエンテーリング大会 ブリテン3（プログラム）

この大会は、スポーツ振興くじ助成金を受けて開催します。



グリーンパーク思い出の森

- 開催期日 2025年11月9日（日） 雨天決行・荒天中止
競技場所 滋賀県高島市朽木柏
競技会場 「グリーンパーク思い出の森」周辺
主催 公益社団法人日本オリエンテーリング協会（JOA）
主管 滋賀県オリエンテーリング協会
後援 スポーツ庁、（公財）健康・体力づくり事業財団、（公財）日本スポーツ協会、
滋賀県、滋賀県教育委員会、高島市、高島市教育委員会、（公財）滋賀県スポーツ協会
協賛 株式会社リテラメッド、サインジャパン、かなめ測量株式会社、
株式会社アークコミュニケーションズ、デサントジャパン株式会社
協力 AUTHENTIC JAPAN 株式会社／ココヘリ



1. 大会役員

大会名誉会長 三日月 大造（滋賀県知事）
 大会会長 野田 聖子（公益社団法人日本オリエンテーリング協会会長）
 大会副会長 村越 真（公益社団法人日本オリエンテーリング協会副会長）
 大会副会長 大里 真理子（公益社団法人日本オリエンテーリング協会副会長）

2. 競技役員

実行委員長 大島 健一
 運営責任者 土屋 周史
 競技責任者 玉木 圭介
 コース設定者 菅 麻里絵
 イベントアドバイザー 寺嶋 一樹（静岡県オリエンテーリング協会）

スタッフ

猪飼雅 出原優一 市橋卓 稲田元樹 今里裕子 上野信 上原珠美 梅本匠 小野賢二 古津和夫
 坂本瑠璃子 笹谷康之 杉原未奈 谷川友太 寺村和仁 中嶋伸哉 中島美結 早川正真 平島俊次
 堀池美穂 山本哲也 和佐田祥太郎（五十音順）

3. 大会スケジュール

11月3日（月） 24：00 選手権クラス走順登録締め切り
 11月7日（金） 20：00 チームオフィシャル・ミーティング質問締め切り
 11月8日（土） 16：00 チームオフィシャル・ミーティング（オンライン開催）

11月9日（日） 第34回全日本リレーオリエンテーリング大会
 会場：「グリーンパーク思い出の森」

8：30 開場
 9：00 受付開始
 9：50 開会式
 10：00 競技説明およびデモンストレーション
 10：30 ME クラス 1走スタート
 10：35 WE、MS、WS、MJ クラス 1走スタート
 10：40 WJ、MV、WV、XJ、XV クラス 1走スタート
 10：45 一般クラス スタート
 13：30（予定）表彰式、閉会式
 14：15 フィニッシュ閉鎖

4. ごあいさつ



祝 辞

スポーツ庁長官 河合 純一

第34回全日本リレーオリエンテーリング大会が、滋賀県にて盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。本大会は、リトルジュニアからスーパーベテランまで幅広い年齢層の選手が一堂に会し、それぞれが地図を片手に山野を駆け巡り、タイムを競い合う大会であり、生涯スポーツ社会の実現を図る上でも大変有意義なものであります。

これまでスポーツを通じた健康増進や地域活性化を支え、スポーツの価値を社会に広げてこられた関係者の皆様に心から敬意を表します。スポーツ庁は、本年、創設10周年を迎えます。スポーツ立国の実現に向け、次の10年に向けてもスポーツの価値を更に高め、誰もがスポーツに親しめる社会を目指してまいります。

選手の皆様方におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されとともに最後まであきらめことなく、ゴールを目指して走りぬいてください。そして、今後ともオリエンテーリングをはじめとするスポーツを通じて、健康増進や地域社会の形成に寄与されることを期待しております。

結びに、本大会の開催に御尽力された公益社団法人日本オリエンテーリング協会をはじめ、関係の皆様に心から敬意を表しますとともに、本大会の御成功とますますの御発展を祈念して、お祝いの言葉といたします。



ご挨拶

滋賀県知事

三 明 大 造

第34回全日本リレーオリエンテーリング大会の開催を心よりお祝い申し上げます。選手そして関係者の皆様、滋賀県へ来県いただき、心より歓迎いたします。

オリエンテーリングは、速さを競うクロスカントリー競走の要素、自然を熟知してコースを選択して進む登山の要素を兼ね、取り組みやすく、楽しめるスポーツとして発展してきたと承知しています。滋賀の自然を満喫しながら、今日までの練習と経験を存分に発揮していただき、熱い戦いが繰り広げられることを期待しています。

本県では、今秋に「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」を開催しました。また、来年には全国高校総体、さらに2027年には「ワールドマスタースゲームズ2027 関西」を控え、今、滋賀のスポーツは熱気を帯び、誰もがスポーツを一層身近に楽しむことができる環境づくりに取り組んでおります。「する」「みる」「支える」の多様な関わりを通じて誰もが輝き、心豊かになることがスポーツの魅力です。スポーツの輪を広げ、滋賀、そして日本を元気にしたいと考えております。

参加される皆様におかれましては、体調に御留意いただきながら滋賀の豊かな自然、歴史ある文化の魅力を感じていただければ幸いです。

結びにあたり、大会の開催に御尽力いただきました関係の皆様には感謝を申し上げますとともに、大会の成功と選手の皆様の御健闘、今後の更なる発展を心からお祈り申し上げます。



歓迎の言葉・ご挨拶

高島市長 今 城 克 啓

本日ここに、「第34回全日本リレーオリエンテーリング大会」が、滋賀県高島市で開催され、全国各地から出場される多くのみなさまをお迎えできることは、誠に喜ばしく、高島市民とともに心から歓迎を申しあげます。

高島市は、日本一の琵琶湖の北西に位置し、14の日本百選をはじめ、全国でも唯一、重要文化的景観に3か所が選定されています。また、平成27年4月には日本遺産として滋賀県の「琵琶湖とその水辺景観－祈りと暮らしの水遺産」が認定され、その構成文化財に市内の5か所も含まれるなど、琵琶湖と山々に囲まれた風光明媚なまちでございます。

さらに、ここ朽木地域を含む山岳地帯をコースとし、琵琶湖を見下ろしながら、ブナ、ミズナラなどの深い混生林を駆け巡る「フェアリートレイル びわ湖高島トレイルランニング in くつき」では、例年全国各地から多くの選手に参加いただき、高島の自然を体いっぱいご堪能いただいております。

オリエンテーリング競技につきましても、自然に挑み野山を楽しむ競技であります。高島市の豊かな山々を満喫していただくとともに、日ごろの練習の成果を存分に発揮し、頑張っていたいただきたいと思います。

また、本大会に参加される選手のみなさまの間でも交流が深まり、思い出深い大会となりますよう願っております。そして、本大会を機に、ここ高島にお越しいただき、その魅力を感じていただいたみなさまには、これからも末永く高島市とお付き合いいただければ幸甚です。

結びになりますが、本大会の開催にあたりご尽力されました公益社団法人日本オリエンテーリング協会様をはじめ、関係各位のみなさまに深甚なる敬意を表しますとともに、本大会の成功と選手のみなさまのご健闘を心からお祈り申しあげます。



主催者あいさつ

公益社団法人 日本オリエンテーリング協会

会長 野田 聖子

このたびは、2025 年度第 34 回全日本リレーオリエンテーリング大会にご参加いただき、誠にありがとうございます。また、日頃より日本オリエンテーリング協会(JOA)の活動にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

地図とコンパスを手に自然の中を駆け抜け、自らの判断力と行動力を試す知的スポーツであるオリエンテーリング。今回は3人でつないでいく都道府県対抗のリレー競技ということで、本来の魅力に加えチームメートとしてお互いを信頼し、自分の役割を確実に果たして目標に向かっていくメンバーの総合力が求められる舞台となります。一人一人が都道府県の代表としてコンディションを整え、各人の力を結集してチームとして最高の成果を目指してください。

会場となるグリーンパーク思い出の森は琵琶湖西岸の安曇川流域に位置し、豊かな自然に囲まれる中で宿泊や温泉、バーベキューに各種スポーツが楽しめる施設でオリエンテーリング大会の舞台としても打ってつけのフィールドだと聞いております。選手が最高のパフォーマンスを発揮するにはもってこいの環境といえるでしょう。

JOA はこれからも、競技者の安全に最大限配慮すると共に、競技力の向上と次世代の育成に努め、生涯スポーツであるオリエンテーリングを通じて豊かな社会づくりに貢献してまいります。選手の皆さまのご健闘を祈念し、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

最後になりましたが、大会運営に携わる全てのスタッフの皆さんの献身に感謝するとともに、開催にあたりご協力を賜りましたグリーンパーク思い出の森様、ご後援を頂きます滋賀県、高島市を始めとする関係団体各位に深く御礼申し上げます。



ごあいさつ

滋賀県オリエンテERING協会

会長 大島 健一

ようこそ滋賀県へ！

滋賀県のほとんどが琵琶湖と思われている方も多いと思いますが、そんなことはありません。琵琶湖は滋賀県のわずか1/6ほどに過ぎず、四方を豊かな自然に囲まれています。その中に多くのトレインが開発され、関西オリエンテERING界の一翼を担っていると自負しております。今回は、会場内に温泉施設もあり、オリエンテERING後のリフレッシュもお楽しみいただけるトレインをご用意しました。

先日の全日本ミドルで発生した事故は、「迷う」オリエンテERINGの魅力は「遭難」と紙一重であることを改めて認識させるものでした。今回の大会運営にあたり、万全とは言えませんが、最善の対策を実施していく所存です。

滋賀県協会は規模こそ小さいものの、精鋭メンバーが揃っております。皆様が都道府県代表として最高のパフォーマンスを発揮できるよう、私たちも全力で取り組んで参ります。ご期待ください。

5. 問い合わせ先

11月8日まで

(極力Eメールでのお問い合わせをお願いします。電話は携帯への転送の為取れない事があります)

公益社団法人 日本オリエンテーリング協会 全日本リレー大会係

E-mail : entry@orienteering.or.jp TEL : 03-5843-1907

11月9日(大会当日) 03-5843-1907(大会会場の担当者携帯電話に転送されます)

大会に関する情報発信

下記の手段で行います。適宜確認をお願いします。

- 大会 Web サイト

<https://orienteering.sakura.ne.jp/jroc/2025shiga/>

- LINE オープンチャット

オープンチャット「[全日本リレーオリエンテーリング大会参加者オープンチャット](#)」



6. 大会前日まで

● 走順票の提出

<選手権クラス>

- 提出期限 11月3日(月) 24:00
- JOYに掲載されている入力フォームから提出してください。
- 複数回提出された場合は、最後に提出されたものを有効とします。
- 期限までに走順票の提出がなかったチームは、大会 Web サイトおよび JOY に記載されているエントリーリストの走順とします。
- 選手権クラス最終走順一覧表は、大会 Web サイトおよび JOY で公開します。
- 走順票提出後、急病等の緊急事態により選手が出場できない場合、同一クラスの他のチームおよび補欠登録選手に限り選手交代の申告ができます。大会当日の 9:30 までに専用の用紙に選手交代の理由並びに内容等を記入し、大会本部へ申告してください。
なお、前日までに選手交代の必要性が判明している場合には、チームオフィシャルから大会問い合わせ先まで連絡をお願いします。
- 交代の可否は、競技責任者が決定します。本処置により出走を取りやめた選手は、本大会全ての競技に出場できません。

<一般クラス>

- 提出期限 11月9日(日) 9:30

- 一般クラスの提出用走順票は、会場内受付に用意します。申込時（大会ウェブサイトに掲載のエントリーリスト）から選手・走順に変更のあるチームは、走順票を受付に提出してください。チーム名変更はできません。
- 成績速報の選手名は、エントリーリスト掲載内容にて表示される場合があります。

● トレーニングコース

- 用意しません。

● チームオフィシャル・ミーティング (TOM)

- チームオフィシャル・ミーティングは11月8日（土）の16:00～17:00にオンライン（Zoom）で開催します。

リンク: <https://us06web.zoom.us/j/89087479971?pwd=YYysZQYWtpKlCZEgHbzQ8f3ykcnTZE.1>

ミーティング ID: 890 8747 9971

パスコード: 051102

- チームオフィシャルの方は参加願います。
- 選手も参加可能です。ただし、接続数に上限（100）がありますので、代表者のみが参加するようにしてください（概ね各協会2～3人までが目安）。
- チームオフィシャルは、TOMで質問することができます。
- チームオフィシャルは、各協会内で参加選手に必要な情報を伝達してください。
- プログラムに掲載以外の追加情報は、大会 Web サイトにて公表します。
- 競技に関する情報への質問は11月7日（金）20:00まで受け付けます。問い合わせ先にメールで送信してください。
- 回答およびミーティングでの質疑応答は11月8日（土）のうちに大会 Web サイトにて公表します。
- 公式掲示板は、TOM後の発表内容にその後追加必要な事項を加えて発表します。

7. 交通案内

・会場位置図



・アクセス

車： 京都東 IC から国道 161 号、477 号、367 号経由で約 53km

北陸道 木之本 IC から国道 303 号、161 号、303 号、367 号経由で約 48km

＊近江高島駅方面から朽木スキー場経由のルートは、県道 295 号線の道幅がたいへん狭く、一部崖崩れもありますので避けてください。

公共機関： JR 湖西線安曇川駅からシャトルバスを運行

<乗用車・チャーターバス利用の方>

乗用車は、会場案内図内に示された会場（グラウンド）北西側の駐車場 P1（150 台）に係員の誘導に従い駐車してください。満車になったら、南西側 P2 に案内します。係員の指示に従ってください。

チャーター（貸切）バスは、会場東側 P4 に駐車してください。

<シャトルバス利用の方>

JR 安曇川駅東口ロータリー、8：30 出発。会場まで約 30 分です。バス乗り場に係員がいます。

バスは定刻に発車します、乗り遅れないようにしてください。バス乗車時に係員が、バス代金往復 4000 円頂きます。

エントリー時にバスの申し込みしていない方でバス利用したい方は、先着 15 名まで乗車できます。当日乗れないかもしれませんので事前にお問い合わせください。

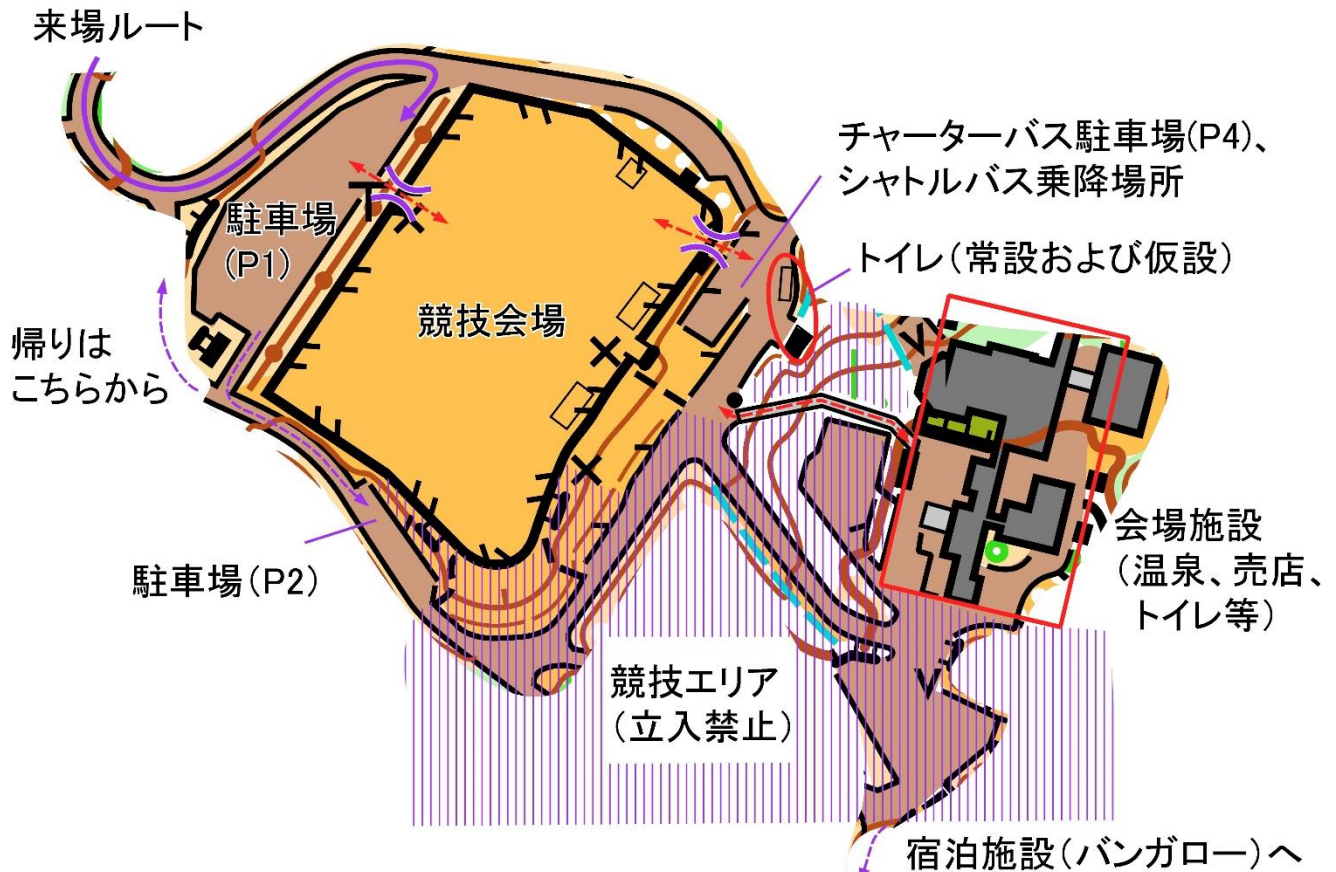
帰りのバスは、14：40 出発予定です。

JR 安曇川駅（湖西線）時刻表

敦賀方面行 8：20、・・・15：27、16：07、16：27・・・

京都方面行 8：16、・・・15：17、16：17、16：34・・・

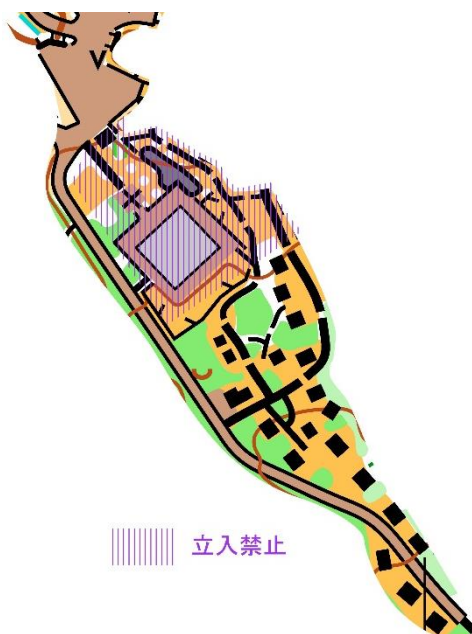
・会場全体図



この施設内に、温泉施設、レストラン、売店、トイレなどがあり、本大会参加者の利用は可能です。会場全体図を参照し、トイレ横の通路からアクセスしてください。また靴を履き替えるなどして泥を持ち込まないようにしてください。

トイレ付近に温泉の出る蛇口が設置されていますが、本大会の参加者使用禁止とします。

・宿泊施設（バンガロー）エリア



大会参加者による宿泊施設(バンガロー)利用を認めています。

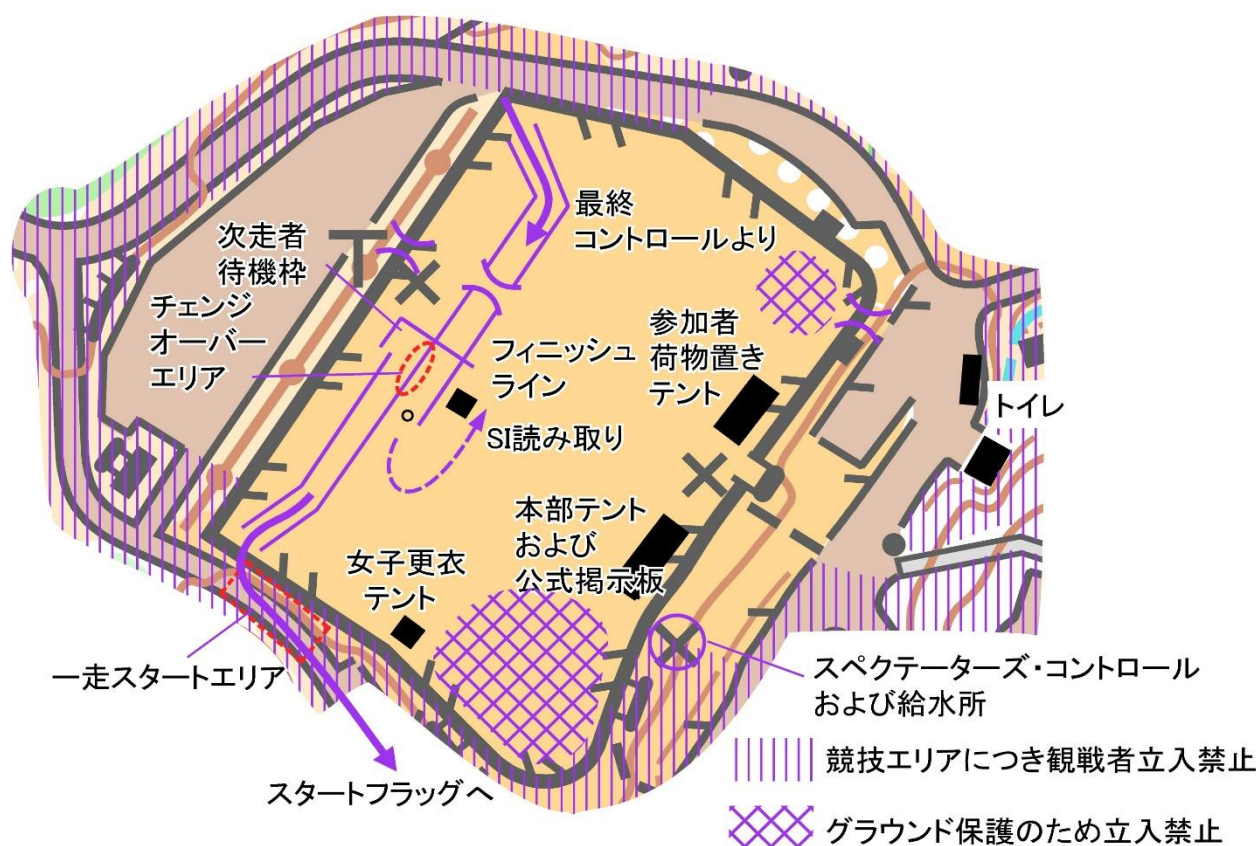
宿泊者は、左記地図の範囲外および立入禁止で示したエリアに立ち入らないようにしてください。ただし、会場全体図に示した「会場施設」の利用は可能です。

なお、大会当日は午前9時までに競技会場への移動を完了してください。

8. 競技会場レイアウト

競技会場「グリーンパーク思い出の森」多目的グラウンド

・レイアウト図



- ・女子更衣室：更衣用テントを設置します。
- ・参加者荷物置き用のテントを準備します。ただし、敷物は各自で用意してください。
- ・テント、タープの設営は可能です。ペグうち可能です。撤去後は、清掃及び地面の原状回復をお願いします。
- ・ウォーミングアップエリアは特に定めません。競技会場内で他の参加者の邪魔にならないよう行ってください。

9. 当日の流れ

(1) 受付 9:00～

- ・競技に必要な物品（SI カード、競技用地図（封入済み）、ナンバーカード、ココヘリ発信機（対象選手のみ））をすべてのクラスにおいてチーム単位で封筒に入れて配布します。選手権クラスは協会ごとにまとめて配布いたします。
- ・欠席のチームがある場合にはスタート開始前に受付まで封筒ごと返却下さい。欠席チームの地図は、繰り上げスタート後に再度受付に来ていただければお渡し致します。

(2) 開会式 9:50～10:00

- ・本部テント付近で行います。
式次第：・開会宣言 大会実行委員長
・来賓挨拶 高島市教育委員会事務局スポーツ振興部 部長 赤水 新次様
・選手宣誓 滋賀県選手団

(3) 競技説明デモンストレーション

開会式後、10:00 から行います。

(4) 第1走者のスタート招集

- ・ME クラスは 10:25 に招集します。以後のクラスは各々5 分前に招集します。遅刻者は出走できません。
- ・第1走者のスタートエリアは、会場詳細図に記載の場所になります。
- ・第1走者はスタートエリアに各自が競技で使用する地図を持参してください。
- ・スタートエリアに入る前に、SI カードのクリア、チェック、テストステーションでの動作確認をしてください。動作しない場合は係員にお知らせください。
- ・スタートエリアに入ったら、係員の指示に従って整列し、係員の点呼を受け、そのまま待機してください。

(5) スタート

10:25 ME クラス 1走招集
10:30 ME クラス 1走スタート
10:35 WE、MS、WS、MJ 1走スタート
10:40 WJ、MV、WV、XJ、XV 1走スタート
10:45 一般クラス

- ・地図の封印はスタートするまで解くことはできません。
- ・地図上のスタート地点（△表示）までは「赤・白」テープに従ってください。

(6) 給水所

- ・スペクテーターズ・コントロール付近に給水所を設けます。また、各チームで独自に給水（テーブル設置、手渡しなど）することを認めます。詳細は、大会当日の競技説明において説明しますので、注意して聞いてください。

(7) 中間通過情報と次走者準備、中継

- ・全コースにおいて、会場から容易に視認できる位置にスペクテーターズ・コントロールがあります。前走者がスペクテーターズ・コントロールを通過したら次走者は出走の準備をして待機枠にお入り下さい。
- ・スペクテーターズレーン通過後フィニッシュまでの所要時間はクラスによって違います。おおよその所要時間は5分から15分です。

- ・通過情報の放送を行うことがあります、すべての選手に対して行うものではありません。また中継のために責任をもつ広報手段でもありません。
- ・次走者への通過情報の伝達は、Lap Center の中間速報なども利用して各チームで行ってください。
- ・次走者は、次走者待機枠に各自が競技で使用する地図を持参してください。地図の封印はスタートするまで解くことはできません。
- ・次走者待機枠に入る前に、SI カードのクリア、チェック、テストステーションでの動作確認をしてください。動作しない場合は係員にお知らせください。
- ・中継は、チェンジオーバー地点で前走者が次走者に接触（タッチ）する事により成立します。不完全な場合は役員が警告を発し、やり直しを求めます。
- ・次走者が次走者待機枠にいない場合、前走者は係員の指示に従い、後続の走者の邪魔にならない位置で次走者が来るまで待機してください。

(8) フィニッシュ

- ・最終コントロールからフィニッシュまでは「赤・白」テープ誘導となります。
- ・次走者との中継を終えた第1、第2走者、およびフィニッシュラインを通過した第3走者は、そのままレーンを進み、SI カードをフィニッシュ・ステーションに差ししてください（パンチングフィニッシュ）。誘導に従ってカード読み取り所にて、SI カードを差し込んでください。全てのSI カードをここで回収します。
- ・フィニッシュ後、地図を回収します。役員の指示に従って回収袋へ入れてください。
- ・第3走者の着順はパンチングフィニッシュの着順ではなく、フィニッシュラインの通過順です。フィニッシュラインの通過後はフィニッシュ・ステーションにパンチするまで順番を変えないで下さい。
- ・競技を途中でやめた場合は、帰還後本部へSI カードを必ず返却してください。
- ・SI カードを紛失した場合は本部に必ず申告してください。

(9) 繰り上げスタート 13：05（予定）

- ・13：05（予定）までに中継ができなかった未出走者は、繰り上げスタートになります。なお、繰り上げスタート時刻は、レースの進行状況により変更となる場合があります。
- ・当該選手は13：00（予定）に次走者待機枠に集合してください。
- ・繰り上げスタート直前まで、前走者との中継を認めます。中継完成の成否判断は中継判定員が行います。
- ・13：05（予定）の号砲により一斉スタートしてください。
- ・繰り上げスタート以降中継所を閉鎖します。
- ・繰り上げスタート者の競技可能時間は70分です。

(10) 成績速報

- ・Lap Center (<https://mulka2.com/lapcenter/>、右のQRコード)にて提供する予定です。最終走順の他、中間速報などの戦況もリアルタイムで提供する予定です。



(11) 競技終了

- ・14：15にフィニッシュを閉鎖します。
- ・全ての競技者は競技途中でも、この時刻までに必ずフィニッシュに帰還してください。

(12) 表彰式・閉会式

- ・閉会式は、13：30（予定）から行いますが、早める場合もあります。

(13) その他

- ・競技を棄権したチームは、本部へその旨を伝え SI カードを取りまとめ返却してください。
- ・地図返却は、繰上げスタート後に本部付近で行います。
- ・地図販売は、繰上げスタート後に行います。全コントロール図 700 円、コース図 500 円です。数に限りがあります。

10. 競技情報

競技形式：リレーオリエンテーリング（1 チーム 3 名）

競技規則：「日本オリエンテーリング競技規則」による

地 図：「グリーンパーク思い出の森」 縮尺 1：10000 等高線間隔 5m

ただし MV、WV、XV、XJ は縮尺 1：7,500 等高線間隔 5m

図 式：ISOM2017-2 準拠 A4 判、ポリ袋封入済

コントロール位置説明：「ISCD2018」準拠

競技規則等からの逸脱事項

- ・競技規則 14.3 ルートの誘導につき、現地では明瞭に表示しているものの、判読性確保のために地図上に表記していないものが存在します。
- ・ISOM2017-2 704 コントロール番号につき、コースの判読性確保のため、所定のサイズ（高さ 4mm/「1：15000」）を 80% に縮小しています。

競技用の地図の包装状態

- ・地図は、防水用のポリ袋に封入（シーリング加工）した状態で 2 つ折りにされ、開かないよう粘着力の弱い紙テープで止めてあります。出走前に紙テープを外して地図を見ることはできません。紙テープが外されていることが判明した場合は失格となります。
- ・地図の裏面には、ナンバーカードと同じ数字が印刷されて入っています。ポリ袋に封入された状態で確認することができます。誤って他の走者の地図を持って出走することのないようにしてください。1 の位の数字が走順を表します。

トレインプロフィール

標高 180m～330m の北西向きの片斜面で、台地状の尾根と、そのほとんどが深く切れ込んだ沢で構成されます。沢を形成する急斜面には通行不能な崖も散見され、沢を不用意に横断するのは非常にエネルギーを費やし、また危険ですので注意が必要です。レース中に通過する可能性があり特に危険な急斜面については、地図上に立入禁止表示をしています。当該地区の通過については必ず後掲の「コース情報」の記述に従ってください。

台地状の尾根の一つには今大会の会場である「グリーンパーク思い出の森」に属する大小の、開けた土地・道路・建物等の施設が存在します。また、「思い出の森」とは離れた個所に 2014 年に閉鎖した県営の施設跡が存在します。

「思い出の森」施設周辺の森林における走行可能度はおおむね高くありませんが、それ以外のエリアの走行可能度は高い部分が多いです。

閉鎖した施設跡の周囲にはかつて整備された遊歩道由来の不明瞭な小径と付帯施設が散見されます。それ以外の森林内において小道等は少ないです。

岩石系の特徴物は、前述した急斜面における崖以外は少ないです。

微地形は特に台地状の尾根のエリアには少ないです。

コース情報

- ・クラス別コース情報は以下の通りです。

【選手権クラス】

クラス	距離	登高	優勝設定時間	競技時間	地図サイズ	沢横断
ME	5.2～5.3 km	325～335m	105 分	210 分	A4 判	通過点①
WE	3.9～4.0 km	265m	105 分	210 分	A4 判	誘導②
MS	4.6～4.7 km	270m	105 分	210 分	A4 判	誘導②
WS	3.0 km	130m	105 分	210 分	A4 判	誘導②
MJ	4.6～4.7 km	270m	105 分	210 分	A4 判	誘導②
WJ	3.6 km	185m	105 分	210 分	A4 判	なし③
MV	3.9～4.0 km	265m	105 分	210 分	A4 判	誘導②
WV	3.0 km	130m	105 分	210 分	A4 判	なし③
XV	2.8～2.9 km	110m	75 分	210 分	A4 判	なし③
XJ	4.0 km	50m	75 分	210 分	A4 判	なし③

【一般クラス】

クラス	距離	登高	優勝設定時間	競技時間	地図サイズ	沢横断
R1 MS 相当	4.6～4.7 km	270m	105 分	210 分	A4 判	誘導②
R2 XV 相当	2.8～2.9 km	110m	75 分	210 分	A4 判	なし③
S1 MS 相当	4.6 km	270m	35 分	70 分	A4 判	誘導②
S2 XV 相当	2.9 km	110m	25 分	70 分	A4 判	なし③

- ・優勝設定時間は IOF Competition Rules Appendix6 に準拠し、原則 90 分～105 分としていますが、2025.09.01 に改定された「日本オリエンテーリング競技規則および関連規則類に関するガイドライン」に従い、またコース設定上の都合により、ブリテン 2（大会要項）から変更になっているクラスがあります。
- ・上記距離の表記（地図上の位置説明の表記も同じ）は中継（チェンジオーバー）ゾーンからスタートフラッグ（△）までの距離を含んでいます。
- ・変更の場合は、前日のチームオフィシャル・ミーティングで発表し、当日は公式掲示板に掲出します。

車道を走る場合の注意事項

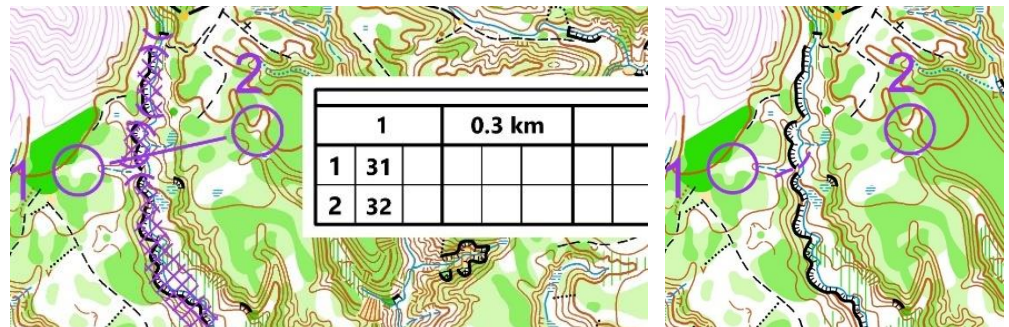
レース中に車道を走行、横断する場合があります。車道は、交通量は多くないですが車の通行があります。車道を走る場合は可能な限り道路の右側を走ってください。また道路の端に白線がある場合はできるだけ白線の内側を走ってください。

トレイン内の急斜面を横断する場合の注意事項

- ・トレイン情報に記載の通り、危険な急斜面が存在する沢につき、レース中に横断する比較的安全な箇所（以下便宜上「安全な渡河点」と表記）については、クラスによって地図表現等が3パターンに分かれます。（なお、ここでの「安全な渡河点」とはあくまでも周辺に比べ比較的安全な箇所を指し、当該箇所をたどるときは当然に、十分注意を払い、無理な追い越しを慎む等の配慮をお願いします）。①安全な渡河点を通過点（710）表示し、それ以外の危険な急斜面等を立入禁止区域（709）表示している、②安全な渡河点の前後にコントロールを置き、コントロール間を赤白ストリーマーにて誘導している、誘導から外れた危険な急斜面等は立入禁止区域（709）表示している、③通常はそのエリアは通過しないが立入禁止区域（709）表示は地図上に記載されている、の3パターンです。前記「クラス別コース情報」の表の右端の「沢横断」欄にその別を示しています。以下に詳細を説明します。

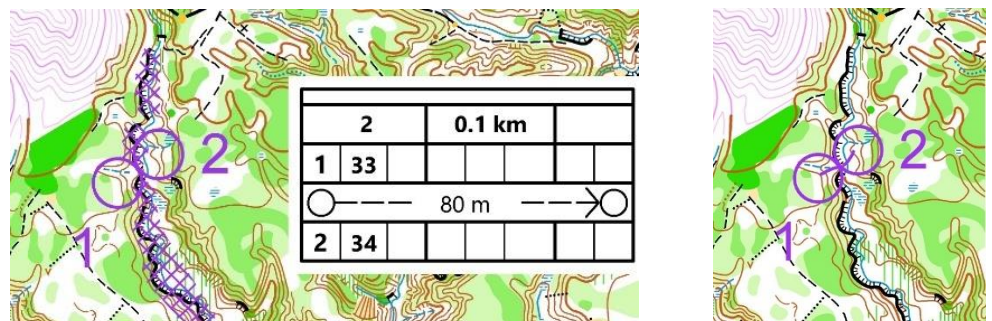
1. ①パターンの場合、地図上にて複数の通過点(710)表示があります。いずれかの通過点にて当該沢を渡河してください。通過点付近の現地において②パターンクラス向けの赤白ストリーマーを見かける可能性がありますがそれに従う必要はありません。地図上では立入禁止表示（709）表示していますが、現地には表示していません。①パターンの地図表記イメージは左図、現地での表示イメージは右図です

（左）地図表記イメージ
（右）現地での表示イメージ
（地図は今トレインとは異なります）



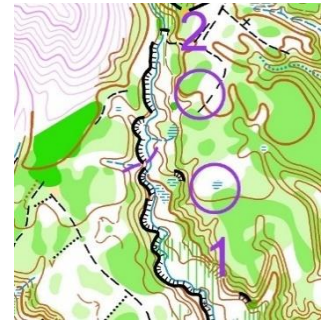
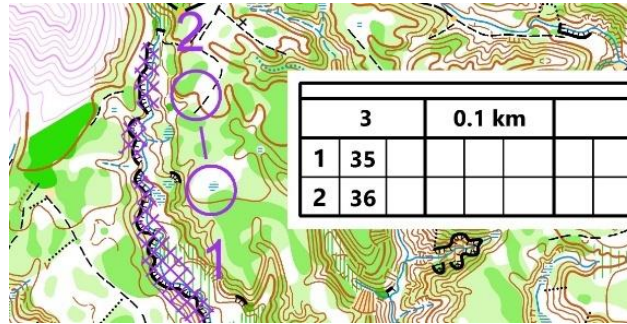
2. ②パターンの場合、地図上に通過点(710)表示はありません。また、赤白ストリーマーにてコントロール間を誘導していますが、下記イメージ図の通りコントロール間が短く、地図（左）表記上では誘導の表記はされていません（できません）。ではありますが、現地には地図（右）のとおり誘導テープが存在しますので、**安全のため必ず現地の誘導に従ってください**。また、誘導開始・終了点にある各コントロールへのパンチ（例示上での 33, 34）をくれぐれも忘れないようにしてください。

（左）地図表記イメージ
（右）現地での表示イメージ
（地図は今トレインとは異なります）



3. ③パターンの場合、地図上では立入禁止区域（709）表記していますが、通過点(710)表記、赤白ストリーマーの表記もしていません。現地には赤白ストリーマーのみが存在します。通常のルートチョイスで当該の沢の横断をすることはありませんが、念のため当該沢付近の地図表記イメージと現地表示イメージを以下に掲示します。

(左) 地図表記イメージ
 (右) 現地での表示イメージ
 (地図は今テレインとは異なります)



スペクテーターズ区間

- ・全クラスとも、レイアウト図に示すように途中にスペクテーターズ区間があります。さらに Lap Center のライブ中継 (→中間速報) を利用して前走者の接近情報を得て下さい。

特殊記号

以下の特殊記号を使用しています。

○ (530) 目立つ人工特徴物の例



炭焼き窯跡

× (531) 目立つ人工特徴物の例



野小屋跡



蜜蜂の巣箱



バンガロー跡の基礎コンクリート



巣箱



箱わな

ほか（チームオフィシャルミーティングにて公開予定）

その他の特記すべき現地の地物について

1 地図表記されていないもの

以下の現地の地物は競技用地図上に表記していません。

- ・シカ食害対策用幼齢木保護ネットフェンス
(縦横サイズ 1m～5m×2 程度)



*複数のネットフェンスが近接して設置されていて、全体として実寸表記しうる面積を占めている場合でも個々のネットフェンスの間が通行可能であり、個々のネットフェンスが小さい場合は競技用地図表記していません。(例：下写真)



*縦横サイズ 7～8m程度以上×2を超えるものは競技用地図上に通行不能の柵・フェンス(518)として実寸(もしくは誇張)表記しています。(写真なし)

- ・バンガロー横のバーベキュー用仮設テント(写真内左：鉄パイプ骨組み青・緑色テント)

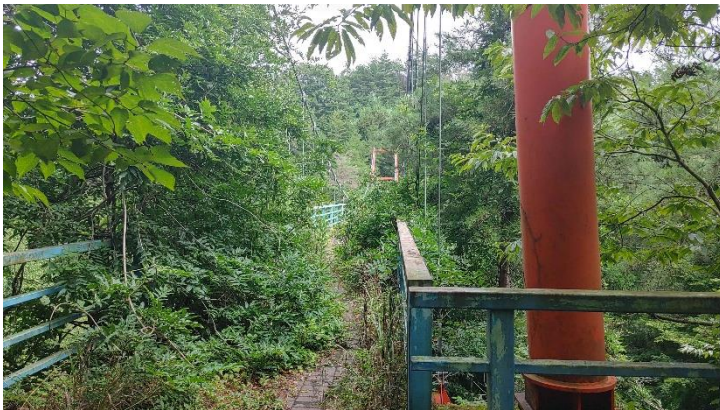


競技用地図では写真内右のバンガロー本体のみ表記しています。

2 「この先通行止表示」について



競技中にルート上にて写真の（もしくはそれに類似する）「この先通行止」看板およびバリケードを通過する可能性があります、看板設置者の了承を得ていますので競技においてその先の道路等を通行することができます。（バリケードは地図表記されていません。）



ただし、当該バリケードの先にある耐用年数を超えた吊り橋（左写真）は、（安全面等を鑑みて）通行禁止です。（吊り橋は地図表記していますが同時に立入禁止区域表記（709）をかけています）

3 その他注意すべき事項



古い遊歩道の木製橋、階段等が左写真のように腐食・部分欠損している箇所が散見されます。十分注意して通行してください。

服装・シューズ・携行品

- ・ピン付きシューズの使用は可能です。
- ・熊鈴を必携とします。
- ・危険に遭遇した時のために、笛およびスマホなどの GPS 機能を有するデバイスの携帯を推奨します。ただし、競技中に通信やナビに使用することは禁止します。
- ・65歳以上のかた、XJ クラスのかたに位置情報発信機ココヘリを携行していただきます。紐付きですので首から下げるなどして落とさないように気を付けてください。



ココヘリ

- ・そのほか、安全対策に関わる情報は、「1 1. 安全対策」を参照ください。

電子パンチングシステムについて

- ・本大会では SPORTident 社製パンチングシステムを使用します。全クラスともに、主管者が配布する SI カードを使用します。個人所有の SI カードの使用はできません。SIAC（タッチフリー）です。
- ・各チームに第 1～第 3 走者用 SI カード 3 枚を地図とともに封筒に入れて配付します。各選手は自分の地図の裏面封入の用紙に記載された番号の SI カードを必ず使用してください。SI カードの使い回しは認めません。指定以外の SI カード（他の選手の SI カードや個人所有の SI カード）を使用した場合は失格となります。
- ・SI カードを紛失・破損した場合は損害金 10,000 円を申し受けます。紛失防止策は各自でお願いします。本部にてゴム紐を配布します。
- ・SI カードの操作に不慣れな競技者は、経験者から前もって指導を受けてください。
- ・全ての選手はスタート枠、待機枠に入る前に必ず SI カードをクリアステーションに差し込みクリア（初期化）をしてください。次に、チェックステーションに差し込み SI カードのチェックをしてください。（ランプの点灯及び音を確認する。）その後、SIAC テストステーションに SI カードをかざして動作することを確認してください。この処理を行わないとコントロールの通過証明が記録として残りません。SI カードの動作が確認出来ない場合は係員に申し出てください。
- ・競技中：SI カードをユニットにかざして音と光を確認してください。動作しない場合は、SI カードをユニットの穴に差し込んでください。それでも動作しない場合はコントロールにつけられているピンパンチで、地図のリザーブ欄にパンチしてください。
- ・ピンパンチによるパンチは、SI ステーションの故障でない場合に使用しても通過証明にはなりません。
- ・SI カードに記録がなく、かつピンパンチによるパンチも無い場合は、失格（コントロール不通過）となります。（参考：「競技規則等の運用に関するガイドライン」17 項参照）

[コントロールで間違った記印をした場合の対処方法]

- ・同じ番号のコントロールで続けて 2 回以上パンチした場合、最初のパンチのみが記録されます。2 回以上パンチしても問題はありません。
- ・途中で間違ったコントロールでパンチした場合も、そのまま正しいコントロールに行ってパンチしてください。間違ったコントロールのパンチが記録されても、正しい順番で回ったことが確認できれば完走と認めます。例 1) 7→8→9 と行くべきところ、7→9 とパンチした場合⇒そのまま 8 に戻ってパンチをし、その後再び 9 をパンチします。（7→9→8→9）例 2) 7→8 と行くべきところ他のクラスのコントロール X でパンチした場合⇒そのまま 8 に行ってパンチします。（7→X→8）

ナンバーカード

- ・選手は、配布されるナンバーカードを必ず胸側に見えるように水平に安全ピンで 4 か所留めてください。1 の位の数字が走順を表します。安全ピンは、各チームで準備してください。ナンバーカードを折って取り付けること並びにナンバー欄への追記は認めません。

調査依頼・提訴

- ・調査依頼はチームオフィシャルまたは当該競技者が提出することができます。本部に備え付けの用

紙に記入して提出してください。成績速報に関することは結果が公表されてから15分以内に行ってください。回答は公式掲示板で掲示します。調査依頼はフィニッシュ閉鎖後30分までです。

- ・調査依頼に対する回答に納得がいかない場合は提訴することができます。提訴も、本部にある所定の用紙に記入し大会本部に提出してください。調査依頼の回答が通知されてから15分以内に行ってください

裁定委員

- ・当日、会場の公式掲示板にて公示します。

ドーピング検査について

1. 本競技会は日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
2. 本競技会参加者は、日本アンチ・ドーピング規程に従わなければなりません。
3. ドーピング検査の対象となった本競技会参加者は競技役員の指示に従って検査を受けなければなりません。なお、身分証明のため、本競技会参加者は学生証・運転免許証等、写真により本人確認ができるものを持参して下さい。
4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意して下さい。
6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、JADAのWebサイト（<https://www.playtruejapan.org>）にて確認して下さい。

公式掲示板

- ・競技に関する本プログラム掲載事項からの変更事項、重要事項等を競技会場に掲示します。オフィシャル、選手は必ず確認してください。

表彰

（1）選手権クラス表彰

ME WE クラス優勝チームを日本選手権者とし、上位6位までを表彰します。他の選手権クラスは上位3位までを表彰します。

（2）団体総合表彰

都道府県ごとにMEおよびWEクラスの得点と、その他の選手権クラスの中で成績の良い4クラスの得点とを合計し、一番高い得点の都道府県を総合優勝として優勝旗と優勝杯を授与し、6位までを表彰します。総合優勝の都道府県には、スポーツ庁長官賞が授与されます。

・得点の計算方法

- ① 各クラスにおいては参加チーム数（最終走順提出時点での得点対象チーム数）に応じて得点を与える。
- ② 同一の都道府県会員から複数チームが出場するクラスでは、最上位チームのみに得点を与え得

点対象外のチームの順位は詰めて計算する。

③ 複数の都道府県会員による連合チームには獲得得点を、チームを構成する都道府県会員数で割った点数をそれぞれに与える。

④ 上記以外の得点対象チームで、競技時間内に完走したチームには、1点を与える。

(3) 一般クラス表彰

リレーは1位のみ、ソロは3位までが表彰対象になります。それぞれディプロマを贈呈します。

11. 安全対策

自然環境の中で行われるオリエンテーリングの特性によって生じる下記のような一般的リスクや、完全には予期できないトラブルが起こりうるスポーツであることを理解したうえで、参加してください。

(1) 道迷い

オリエンテーリングはいわゆる「道迷い」と隣り合わせの競技であります。安全に競技を楽しむため、また運営の負荷をかけないため、競技時間とフィニッシュ閉鎖時間を厳守してください。

今大会の競技用地図は O-MAP 化していない周辺部も下絵に使用した基盤地図情報を薄色で印刷しています。仮に競技用地図エリアをマップアウトしても通常は周辺部地図内にいると思われるので落ち着いて現在地把握に努めてください。

道に迷って自らの想定競技時間を大きく超えた場合、無理をせず競技を中止し、会場フィニッシュに戻るか、救護所に向かい係員の指示に従ってください。フィニッシュ閉鎖時刻までに戻っていないことなどが判明した場合、搜索対象者として搜索されることになります。

自力で戻ることが困難な場合、最寄りのコントロールや赤白ストリーマー誘導等を見つけることが出来た場合はそこにとどまり、役員の撤収・搜索を待ってください。

現在地を完全に見失った場合は、急峻な崖には近づかず北に向かって下ってください。必ず道に出ます。北へ下る場合、可能なら台地状の尾根を下ってください。えん堤もしくは危険な急斜面に阻まれたら無理に急斜面を下りたり上がろうとせずそこで搜索を待つ、もしくは主催者との連絡を試みてください。

(2) 気象・気候によるリスク

冬季になり体温低下等の危険を考慮し、自らの安全を守ることが可能な服装としてください。

熱中症に注意し事前の水分補給をしっかりと行い、場合によっては、給水所での水分補給をして下さい。

(3) 外傷(けが)のリスク

急斜面・不整地・植物（トレイン内にはサルトリイバラの繁茂するエリアがあり、一部クラスで当該エリアを使用します）などのために、さまざまな外傷の危険性があります。衣類(長袖、長ズボン、底の厚い靴を推奨します)に留意し、場合によっては、手袋、帽子、ゴーグルなどの着用も検討してください。

(4) 動植物によるリスク

マダニやヤマビル対策として長袖・長ズボンを推奨します。また、蜂を刺激しないよう黒い衣服の着用は控えてください。熊除けとして熊鈴は各自で用意してください。

(5) 全身疾患などのリスク

オリエンテーリングは身体にかなりの負荷のかかるスポーツです。普段から体調管理に留意するとと

もに、競技前にはウォームアップを行い、体調に不安がある場合は競技続行を取りやめることも考えてください。

(6) 救護について

万が一動けなくなった場合は、大声を出すなどして、他の競技者に救助を求めてください。笛の携帯を推奨します。携帯電話・スマートフォンは、競技においての使用は禁止しますが、安全管理上、携行を許可します。電話を携行している場合は、緊急時は地図、ナンバーカードに記載されている緊急連絡先に連絡してください。救助対象者を発見した場合は、ただちに競技を中止し救助対象者の救護を開始してください。

(7) ツキノワグマの対策について

【競技者へのお願い】

- ・熊鈴を携行してください。
- ・熊を実際に目撃した場合や異常を感じた場合(獣臭、異常な気配など)には、速やかに近くのスタッフに発見場所、時刻などを報告してください。なお スタッフは会場、救護所に配置しています。

【熊が出没した場合の対応】

- ・熊が出没した場合、大会スタッフが車でクラクションを鳴らして知らせます。
- ・クラクション音を聞いたら、速やかに競技を中断し、最も近い会場か救護所に集まってください。可能な限り複数人で行動してください。救護所からは運営者の指示に従い、会場に帰還してください。
- ・競技が中断された後、スタッフは参加者全員が無事に帰還したことを確認します。SIカードの読み取りが帰還チェックの証拠となるため、必ず計算センターを通過してください。

大会中止について

気象庁からの予報で大雨警報、暴風警報、洪水警報などの警報発令が出たときや熊の出現が確認されたときなど、大会参加者や運営者の安全が確保できないと判断した時は、大会を中止します。その際には前日 22 時までに公式 Web サイト、LINE オープンチャットなどでお知らせします。また、参加費の返却は致しませんのでご了承ください。

12. 留意事項

(1) 個人情報

- ・主催者が取得した個人情報は、本大会運営上必要な作業、および今後の日本オリエンタリング協会主催大会の告知や広報の目的に限定して使用します。主催者が大会中に撮影した画像や映像を、大会報告や今後の広報活動などに活用する場合があります。写真や映像の掲載等を希望しない場合は、問い合わせ先へ連絡するか、受付に申し出てください。

(2) 参加同意

- ・プリテン 2 記載の通り、エントリーによって参加同意書に同意したとみなします。

(3) 救護・救急

- ・けが人等の救急を要する選手をみつけた場合には救助に協力し、速やかに大会スタッフに知らせて下さい。けが人の救助は競技続行よりも優先します。
- ・大会本部や救護所では簡単な応急手当のみが可能です。万が一に備え「健康保険証」「お薬手帳」等を持参して下さい。
- ・救急車の要請は、大会本部を通じて行いますので、本部または競技用地図に記載されている緊急連

絡先に連絡願います。

- ・AED は大会本部に備えています

(4) 損害・保険 (JOA)

- ・大会において自分自身が受けた被害、第三者に与えた損害に対して、主催者は一切責任を負いません。行事賠償責任保険及び傷害保険は主催者で加入しますが、限度があります。
- ・大会への参加は、自分自身の健康状態を十分考え、絶対に無理はしないこと。また、参加者が自分自身あるいは第三者へ与えた損傷、損害、損失については、主催者・主管者はその責任を負いません。今大会のエントリーによって参加同意書に同意したものとみなします。

(5) 大会要項等の案内について

- ・今後の大会開催要項などについては、会場内に場所を用意しますので利用してください。申請は不要です。

(6) その他特記事項

- ・一般入場者もおられますので、参加者は安全確保を第一に競技することをお願いいたします。
- ・持ち込まれたゴミ等はお持ち帰りください。また、競技終了後の撤去時にゴミや忘れ物等がないか確認願います。
- ・会場・テレイン内はすべて禁煙・火気厳禁です。

AMBITION IN MOTION™



達成への道は野心から始まります。

野心が私たちをまだ見ぬ場所へ向けて、さらに前進させているのです。

より速く、より軽く、より強く。

自身をよりコントロールできるようになるために。

イノベーションの背景にあるのはモチベーションです。

集中すること、意図すること、執着すること

常に上を目指すこと。

それが私たちの「フロー」を見つける原動力となります。

そして、それが持続する力となっていくのです。



INOV8™

SiGN

sign yourself

【S2コンパス】

やや価格を抑えた廉価版シリーズ。
 カプセル可動式で、N極からの角度が素早く
 把握できます。ニードルの下に直線目盛りが
 入ったプレートを使用しています。

【S4コンパス】

カプセル可動式コンパス。
 ニードルの下に直線目盛りが入ったプレート
 を使用しています。

【S6コンパス】

カプセル固定式コンパス。
 S4よりも寸法が若干大きめで、素材の耐久性
 が高く、プレートの目盛りは最小限抑えられ
 ています。

【マグニファイアー ベーシック】

支柱をコンパス本体の穴に入れて固定するタ
 イプで、本体に設置穴の無いモデルにはご使
 用いただけません。

【マグニファイアー プロ】

コンパスバンドを通して固定するタイプで、
 フレームレスで見やすく、ほぼ全ブランドに
 設置可能です。

S2コンパス(カプセル可動式)



コンパスS2 (ブラック)

価格：6,930円 (税込み)
 寸法：80×45×50mm 重量：30g

S6コンパス(カプセル固定式)



コンパスS6 (クリア)

価格：7,920円 (税込み)
 寸法：85×50×40mm 重量：35g



コンパスS6 (マルチカラー)

価格：7,920円 (税込み)
 寸法：85×50×40mm 重量：35g

S4コンパス(カプセル可動式)



コンパスS4 (ホワイト)

価格：7,920円 (税込み)
 寸法：80×45×50mm 重量：30g



コンパスS4 (ブラック)

価格：7,920円 (税込み)
 寸法：80×45×50mm 重量：30g



コンパスS4 (マルチカラー)

価格：7,920円 (税込み)
 寸法：80×45×50mm 重量：30g

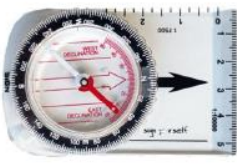
ミニコンパス



コンパスSSミニ

価格：5,940円 (税込み)
 重量：18g 左手用のみ

プレートコンパス



プレートコンパス

価格：3,960円 (税込み)
 寸法：85×55×10mm 重量：28.8g

拡大鏡 (支柱型)



マグニファイアー ベーシック (直径50mm)

価格：3,960円 (税込み)
 重量：13.0g 支柱直径：3.5mm
 ※左手用、右手用どちらのコンパスにも設置可

拡大鏡



マグニファイアー プロ (直径52mm/62mm)

価格：5,940円 (税込み)
 重量：24.0g
 支柱直径：3.5mm (ほぼ全ブランドに設置可)
 ※左手用、右手用あり

ACCESSORIES

下記商品のほか、交換用コンパスバンドなどもkitahefu.comで取り扱っています

ディスクリプションホルダー



FRENSON ディスクリプションホルダー

Sサイズ 価格：1,650円 / 寸法：14×7cm
 (コントロールポイント24か所)
 Lサイズ 価格：1,870円 / 寸法：19×7cm
 (コントロールポイント30か所)

拡大機能付きアイガード



フォーカスfogフリーオプティカルグラス

価格：4,950円 (税込み)
 レンズ下部が度入りの拡大鏡になった便利な商品
 中央の通気孔がレンズの曇りを防ぐ
 +1.0、+1.5、+2.0、+2.5、+3.0、+3.5の6段階

ニードルパンチャー



ニードルパンチャー (1箱10個入り)

価格：8,800円 (税込み)
 A、B、C、Dの4パターンあり
 学校行事や体験会、バックアップ用に最適

オリエンテーリングフラッグ



公式規格コントロールフラッグ (30x30cm)

価格：1個1,540円/50個59,950円/100個99,990円 (税込み)
 従来品よりも厚手の素材&視認性の高い鮮やかなオレンジです
1個から購入可！

コンパスケース



コンパスケース (90 x 90 x 45 mm)

価格：1,540円 (税込み)
 内容量に余裕があり、スベアのコンパス、
 SIカードなども一緒に収納出来ます



公式規格ナイト用コントロールフラッグ (30x30cm)

価格：1個1,760円/50個69,500円/100個119,990円 (税込み)
 ナイトオリエンテーリング用の反射ライン付きフラッグ
1個から購入可！



SiGN ディスクリプションホルダー

価格：1,870円 (税込み)
 寸法：Lサイズ：19.5×8cm
 (コントロールポイント30か所)



フォーカスレーザーシャープグラス

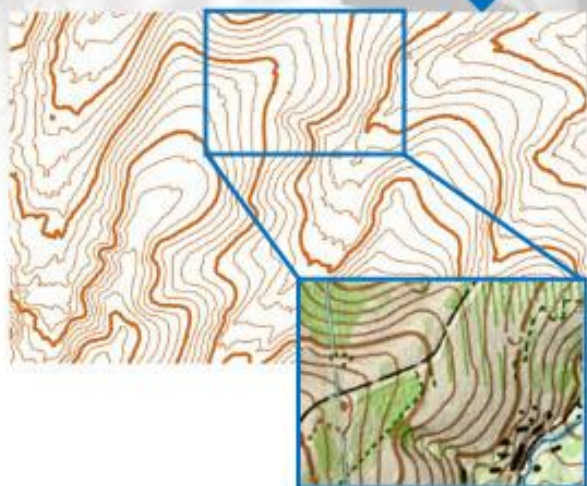
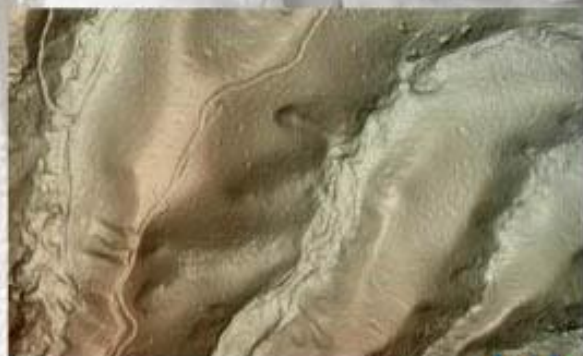
価格：3,960円 (税込み)
 レンズの上部は度なし、下部は拡大鏡
 +1.0、+1.5、+2.0、+2.5、+3.0、+3.5の6段階

地図作成は、

楽

にできる。

もっと



ドローンLiDAR計測

SLAM計測 <NEW>

★ かなめ測量(株)

茨城県つくば市要458-1 / 029-869-6340 / info@ksok.co.jp / <https://ksok.co.jp>

お問い合わせ
ご相談は、お電話または
Eメールでお気軽にどうぞ

☎ 03-5730-6133

✉ arc-c@arc-c.jp

詳しいサービス内容は、
Web サイトをご覧ください

<https://www.arc-c.jp>



グローバルに活躍する皆さまのパートナー アークコミュニケーションズ

私たちは、「人・言葉・メディア」に注目し、
さまざまな分野でビジネスをサポートするプロフェッショナル集団です。

ワールドワイドなビジネスシーンでの活躍を目指す企業様に、
最適なサービスをお届けします。

翻訳 / 通訳 / Web制作・企画 / 会社案内制作 / 人材派遣

オリエンテーリング大会参加のみなさんを応援しています



arc
communications

株式会社アークコミュニケーションズ
〒108-0073 東京都港区三田3-9-9 森伝ビル7F



CLEAN SPORT Athlete Site
クリーンスポーツ・アスリートサイト



公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構は、
クリーンでフェアなスポーツを推進します。

アスリートとサポートスタッフのみなさんへ。

なぜ、私たちにとって、アンチ・ドーピングの
知識や活動が必要なのでしょう？

アンチ・ドーピングは、たんに
「不正する人を見つけ、不当な勝利を防ぐ」ための活動ではありません。

アンチ・ドーピングは、スポーツを成り立たせている
「みんながフェアであること」を守るためにあります。
全員がフェアでなければ、そもそもスポーツは成り立たない。
すべての人が、スポーツに参加し、公平に競い合うことができる。
その権利を守るために、アンチ・ドーピング活動があります。

そして、もうひとつ。アンチ・ドーピングは、
「スポーツが生み出す価値」を守るためにあります。
挑戦する心、相手へのリスペクト、そこから生まれる友情、
そんな、社会にとっても大切な価値を守るためにあります。

フェアであることを守り、スポーツの価値を守る。
そのいちばん中心となるのが、アスリートとサポートスタッフのみなさんです。
みなさんが、フェアであることをつねに誇りに思い、
その大切さを、世の中に示すこと。
それこそが、スポーツの発展を支え、よりよい社会をつくる力になります。

フェアであることの誇りを胸に、すばらしいスポーツの価値を、
ともに広めていきましょう。



勝利を超える価値がある

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構